

## 第3節 民族自決を求めて

### 1

### 中東・インドの民族自決



- |       |   |           |
|-------|---|-----------|
| □ (1) | 存亡の危機を迎えていたオスマン帝国で、祖国防衛戦争を続けて勝利させた軍人。               | ムスタファ＝ケマル |
| □ (2) | 英仏など連合国と1923年にローザンヌ条約を結んで成立した国。                     | トルコ共和国    |
| □ (3) | (2) の頃、イランで成立した国。                                   | パフラヴィー朝   |
| □ (4) | パレスチナにユダヤ人国家を建設することを認める宣言を発したことが原因となって、現在まで続いている問題。 | パレスチナ問題   |
| □ (5) | 1919年にインドで制定された、出版物の検閲、令状なしの逮捕、裁判無しの投獄を認めるとする法律。    | ローラット法    |
| □ (6) | 非暴力・不服従を唱えた、インドの国民会議派に属した人物。                        | ガンディー     |

## 第3節 民族自決を求めて

### 2

### 東アジアの民族運動



- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ (1) 1919年3月1日に起こった、朝鮮で独立宣言が発表されたできごと。</li> <li>□ (2) 日本が中国政府に強要した、日本の中国における権益を拡大・強化する目的で結ばれたもの。</li> <li>□ (3) 北京大学から始まった、それまでの儒教道徳を批判し、文語をやめ、口語によって思想や意思を発表しようとした運動。</li> <li>□ (4) 1919年5月4日に起こった、北京大学の学生を中心とした抗議運動。</li> <li>□ (5) アメリカが中心となり、第一次世界大戦後の列強の利害を調整する目的で開かれた会議。</li> <li>□ (6) (5) の会議により形成された中国と太平洋における列強間の新たな秩序。</li> <li>□ (7) 1921年、孫文が結成した政党。</li> <li>□ (8) (7) と同時期に上海で成立した政党。</li> <li>□ (9) 1924年、孫文が示した共産党と協力して軍閥を倒すための方針。</li> <li>□ (10) 孫文の死後、国民党を指導した人物。</li> <li>□ (11) (10) が軍閥の打倒と中国統一を目指し、広州から北京へと向かったできごと。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>三・一独立運動</li> <li>二十一か条要求</li> <li>白話運動</li> <li>五・四運動</li> <li>ワシントン会議</li> <li>ワシントン体制</li> <li>中国国民党</li> <li>中国共産党</li> <li>第1次国共合作</li> <li>蒋介石</li> <li>北伐</li> </ul> |
|--|---|